

3年間の運用定着から、4年目の活用拡大へ

LEDOデジタルシステムの稼働状況と 地域での活用可能性

生きるを良くする技術欲。

TechnoProject

本日本お伝えすること

- 01 LEDOデジ化システムの稼働状況
- 02 今年度運用に関するお願い
- 03 弊社開発中案件：咀嚼力チェックアプリ
- 04 市町村健康イベント等での活用可能性

LEDOデジタルシステムの稼働状況

LEDOデジタル参加歯科医院

43%

90医院 / 209医院

LEDOデジタル実施件数

59%

5,424件 / 9,237件

LEDOデジタル導入市町村

5市町村

邑南町・知夫村
出雲市・大田市
奥出雲町

県内健診の過半数がデジタルで実施されるところまで広がってきました。
歯科医院の皆さまの日々のご協力による成果です。

市町村ごとに見るとデジタル化の状況には差があります

県全体では59%まで広がった一方、地域ごとの進み方には差があります。

市町村名	参加医院率	デジタル健診率	市町村名	参加医院率	デジタル健診率
1 松江市	43%	60%	11 川本町	0%	0%
2 浜田市	63%	86%	12 美郷町	0%	0%
3 出雲市	30%	38%	13 邑南町	75%	67%
4 益田市	52%	75%	14 津和野町	100%	100%
5 大田市	64%	84%	15 吉賀町	0%	0%
6 安来市	56%	68%	16 海士町	100%	100%
7 江津市	33%	46%	17 西ノ島町	0%	0%
8 雲南市	14%	18%	18 知夫村	100%	0%
9 奥出雲町	100%	100%	19 隠岐の島町	0%	0%
10 飯南町	100%	100%			

参加医院率：市町村内の対象歯科医院のうち、LEDOデジ参加医院の割合
デジタル健診率：市町村内の健診実施件数のうち、LEDOデジで実施された割合

100%水準まで進んでいる地域もあり、LEDOデジは地域の運用として定着しつつあります。今後は、市町村ごとの状況を見ながら、歯科医院での参加と市町村での活用の両面から広げていきたいと考えています。

4年目は、地域単位で活用を広げる

LEDOデジは、健診結果をその場でわかりやすく伝え、市町村側でも速やかに確認できる仕組みです。必要に応じた声かけや保健指導につなげやすくなります。

01 歯科医院での参加を広げる

現在 90医院 / 209医院、43%

02 市町村での活用を広げる

現在は 邑南町・知夫村・出雲市・大田市・奥出雲町

03 健診後の支援につなげる

保健師・管理栄養士によるフォローへの活用を検討

お口年齢で、 健診結果をわかりやすく伝える。

その場で伝わった健診の気づきを、
市町村の保健師・管理栄養士による
必要に応じた声かけや保健指導に
つなげられます。



その場で結果を
わかりやすく共有



市町村で速やかに
結果を確認



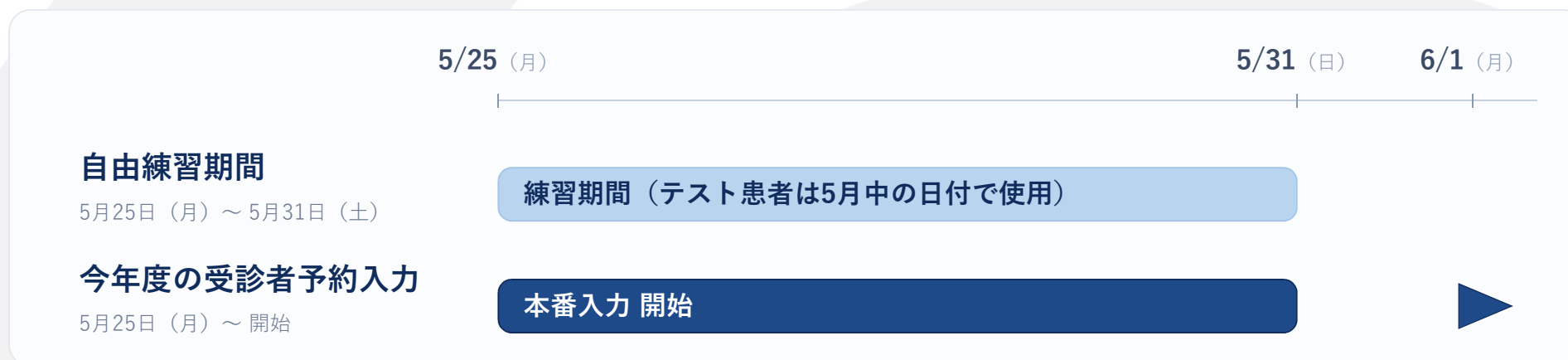
必要に応じた声かけ・
保健指導につなげる

LEDOデジは、健診を「受けて終わり」にしない仕組みです。



今年度運用に関するお願い

今年度の受診者入力に向けて、スケジュールとテスト入力時の注意事項をご確認ください。



重要：テスト患者は必ず5月中の日付で使用してください。

6月以降の日付でテスト入力すると、誤って請求情報が送信される可能性があります。

問合せ窓口・サポート体制

電話番号は2024年度から変更しています。

現在も旧番号へのお問い合わせがあるため、改めて下記番号をご確認ください。

メール **ledo@tpj.co.jp**

緊急時の電話 **090-8447-6670**

受付 **月～金 8:30～18:30 / 土 8:30～13:00 / 日曜・祝日は休止**
5/29(金)スタート

- ・1回線のみのため、電話に出られない場合は必ず折り返します。
- ・訪問サポートは対象外です。

健診開始前に、 接続確認を。

昨年度は、健診開始直後に『ネットワークにつながらない』というお問い合わせが多くありました。

多くは、長期間使用していなかったネットワーク機器を再起動することで解消しています。

今年度は、健診開始前の**5月中**に、ネットワーク機器（Wi-Fiルーター）の再起動と、まめネットへログインできることの確認をお願いします。



再起動の方法：

Wi-Fiルーターの電源コネクタを抜き差ししてください



もし接続できない場合は、コールセンター開設前のため、ledo@tpj.co.jp までメールでご連絡ください。



多くの歯科医院で
使用されている機種
WSR-1166DHPL2



電源コネクタを
抜き差ししてください
(約10秒待ってから再度接続)

弊社開発中案件：咀嚼力チェックアプリ

LEDO健診には、グミを15秒間噛み、吐き出した欠片の数で咀嚼力を確認する項目があります。当社では、この検査を画像解析で支援し、より簡便・客観的に実施できるようにすることを目指してアプリ開発を進めています。

01

検査内容

グミを15秒間噛み、欠片の数で咀嚼力を確認

02

開発の方向性

AI画像解析により、欠片の数の確認を支援

03

活用の可能性

LEDO健診項目のデジタル化を視野に、健康イベント等での活用も検討

AI POWERED / 咀嚼力チェック

AIで咀嚼力チェックをもっと手軽に。

噛んだ後のグミをスマホで撮影するだけ。

AIが欠片を解析し、咀嚼力の目安をその場で表示します。

01

撮影

紙コップを
スマホで撮影

02

解析

AIが欠片を
自動で検出

03

結果

咀嚼力の目安を
わかりやすく表示

誰でも、その場で、すぐわかる。

撮るだけ咀嚼力チェック — 健診現場の新しいスタンダードへ。



健康イベント等での活用イメージ

"噛む力"に関心を持つきっかけをつくる



健康イベントは、まだ歯科受診につながっていない方と接点を持てる場です。

"噛む力"への関心をきっかけに、LEDO健診・歯科受診へつなげる可能性を検討しています。

まとめ

LEDO健診を、地域の健康づくりへさらに広げる

01

LEDOデジ化は、健診データを確実に蓄積・活用する基盤づくり

02


今年度も安定運用に向け、歯科医院の皆さまのご協力をお願いしたい

03

開発中案件を通じて、市町村の健康イベントや受診勧奨にも貢献できる可能性を探っていく

現場で使えそうな場面や、市町村の健康イベントでの活用可能性について、ぜひご意見をいただければと思います。

ご清聴ありがとうございました



生きるを良くする技術欲。

TechnoProject

